

製品名: ENO1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01578**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.53mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 47 kDa; Observed MW: 47 kDa

抗原情報

遺伝子名	ENO1
別名	NNE; PPH; MPB1; ENO1L1; HEL-S-17
遺伝子 ID	2023
SwissProt ID	P06733
免疫原	ヒト ENO1 の合成ペプチド

背景

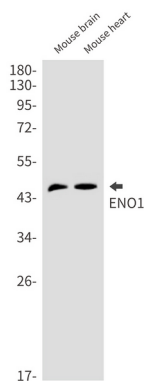
多機能酵素であり、解糖系における役割に加え、成長制御、低酸素耐性、アレルギー反応など、様々なプロセスに関与しています。

白血球やニューロンなど、様々な細胞種の細胞表面においてプラスミノゲンの受容体および活性化因子として機能するため、血管内および細胞周囲の線溶系においても機能する可能性があります。免疫グロブリン産生を刺激します。MBP1はmycプロモーターに結合し、転写抑制因子として作用します。腫瘍抑制因子となる可能性があります。その他、多くの腫瘍の診断マーカーとして使用され、ヘテロ二量体である α/γ は心停止後の低酸素性脳障害のマーカーとして使用されます。子宮内膜症のマーカーでもあります。癌関連網膜症候群（CAR）の患者血清中には、 α -エノラーゼに対する抗体が存在します。CARは進行性失明に至る疾患で、全身性腫瘍の増殖（主に肺小細胞癌やその他の悪性腫瘍）を伴います。橋本脳症（HE）は、橋本甲状腺炎（HT）に関連する稀な自己免疫疾患ですが、この疾患の自己抗原として同定されています。HTは、破壊的なプロセスによって甲状腺の潜在的な置換能力が損なわれ、甲状腺機能低下症に至る疾患です。

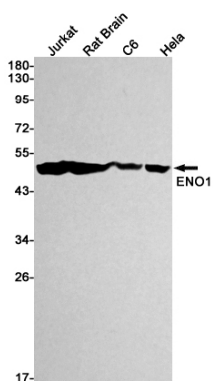
研究分野

シグナル伝達

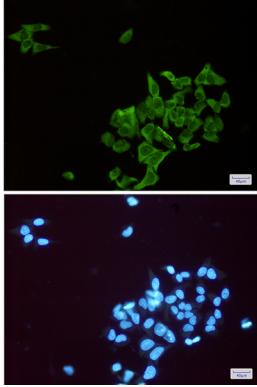
画像データ



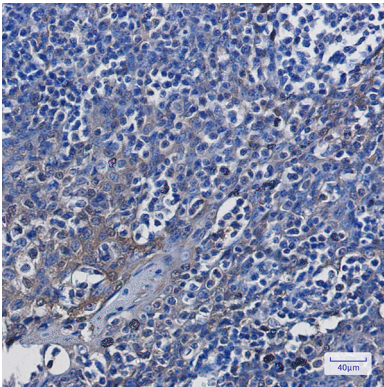
ENO1抗体を使用したマウス脳、マウス心臓溶解物中のENO1のウェスタンブロット分析。



ENO1抗体を使用した、Jurkat、ラット脳、C6、HeLa溶解物中のENO1のウェスタンブロット分析。



ENO1 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中の ENO1 (緑) の免疫細胞化学分析



ENO1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。